

ネットワーク



△富士南地区の歴史は市立南小の開校から



富士南

緑と自然にかこまれ
安全で文化の香り高さ
“きまりよしの里”

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。6月は田子浦、7月は富士駅南地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123内線2822、締め切りは毎月15日です。

富士南地区は、富士市の西南端に位置し、富士川の河岸に沿った地区です。昭和五十三年、市立南小学校ができたのを契機に富士駅南地区の森島・宮下、田子浦地区の五貫島・西宮島・三四軒屋等十一町内が合併してできた地区です。昔は、富士川の河原で、ところどころに集落があったにすぎませんでした。古郡三代にわたるかりがね堤の築堤により耕作地となりました。

戦時中、五貫島一帯の地域は、旧陸軍の飛行場として接収されましたが、戦後、飛行場は解体、耕地整理が行われ、今の碁盤の目のような水田の広がる田園地帯に変りました。現在、この地区は、産業の後背地としてベッドタウン化し、市内でも一・二位を争う人口急増地区となっています。

地区の西側に広がる富士川の河原は、広大な自然を残し、田子の浦港のヘドロ埋立地は、富士川緑地公園として市民のレクリエーションの地となっています。



◁写真前列右から利徳さん、しげさんはる子さん、文雄さん、後列右から美穂さん、緑さん、文徳さん

おじやます
おします

なごやか家族

三四軒屋 齊藤さん一家



“生き神様”と呼んでもいいよ
うなすばらしいおばあちゃん
がいます。三四軒屋の齊藤しげ
さん九十九歳。
今回は、四世代家族の齊藤さ
ん一家におじゃましました。

の七人家族です。
一家のスターは、なんといつ
も市内で四番目に長生きのしげ
おばあちゃん。耳は少し遠いけ
れども、つやのよい顔・張りのある
声は、とても百歳を目前にして
いるとは思えません。
長寿にあやかりたいとその秘訣
を聞けば、「規則正しい生活、毎
日の針仕事、そしてよくよしな
い」とのこと。

おばあちゃんの縫った
エプロンとおしめは、一
針一針ととてもいいねいに
縫ってあり、南地区の文
化祭に出品したときには
奪い合いになるほど人気
がありました。

また、ひ孫で大学生の
文徳君が下宿に帰るとき
は「まるで出征兵士を送
るよう」（妻・緑さん）と
いうほど情けに厚いおば
あちゃんでもあります。
「我が家の生き神様」と
いう言葉がぴったりのお
ばあちゃんですが、理想
的な老後を送れているそ
の影には、なごやかな家族
の雰囲気があることは言
うまでもありません。